

MISATO



Pick Up! 令和7年度宮城県農林産物品評会 宮城県花き品評会

農林水産大臣賞 ダブル受賞!

- ・ 令和7年産水稻作の気象・作柄について
- ・ 「小麦の堆肥活用」 「たまねぎ直播栽培」 事例集を作成しました



祝 令和7年度宮城県農林産物品評会 宮城県花き品評会

農林水産大臣賞 ダブル受賞！

農林産物品評会・水稻うるち玄米部門

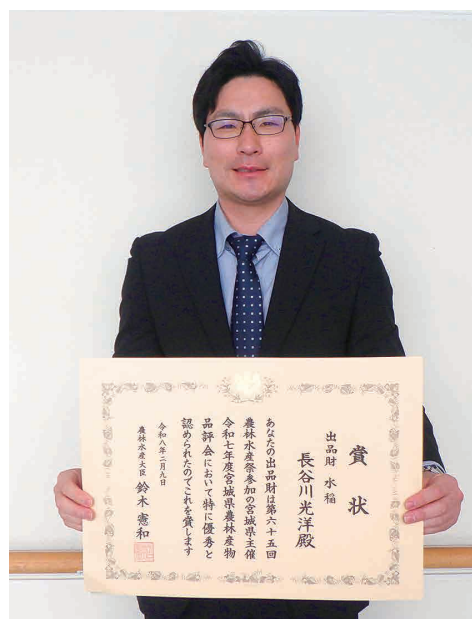
美里町 長谷川光洋さん

「まさか就農1年目の自分が受賞するとは夢にも思いませんでした。」

農林水産品評会のうるち玄米の部で、美里町の長谷川光洋さんの「つや姫」が見事農林水産大臣賞を受賞しました。

長谷川さんは水稻と畜産を営む農家に育ち、幼い頃から農作業を手伝いながら農業に魅力を感じ、農業関係の学校に通って知識と技術を学んできたとのこと。卒業後は農協の営農指導員として生産管理や複式簿記の指導にあたった後、令和7年1月に父から経営の全体を引き継ぎ就農しました。周辺の農家との信頼関係を築きながら、現在は約13haで水稻や牧草の栽培と繁殖牛の育成に取り組んでいます。地域で農家の減少や高齢化が進む中、自らが農地の受け皿として地域農業の維持・発展に貢献したいと考えており、将来的にはさらなる規模拡大による低コスト化を目指しているとのこと。この度、農林水産大臣賞を受賞したことで、今年の秋に皇居で行われる新嘗祭（にいなめさい）に新米を献上することになりました。

長谷川さんは、「まさか就農したばかりの自分が受賞するとは夢にも思いませんでした。春から始まる米づくりでは今まで以上に栽培管理に気を配り、より一層、良質米づくりに取り組んでいきたいと思います。」と話してくれました。



花き品評会

大崎市 株式会社フローラ平山さん

「今後も心豊かな生活づくり、みんなが明るく元気になれる花づくり、産地拡大等に努めて行きたい。」

令和7年度宮城県花き品評会において、大崎市鹿島台の株式会社フローラ平山から出品された「ディスバットマム」が金賞第一席となり、農林水産大臣賞を受賞しました。

(株)フローラ平山は、現在の代表取締役の父が鹿島台地域で先駆的にはじめた花き栽培経営を基盤として、2010年に花き専門の法人として設立されました。法人では、輪ギク、スプレーギク、トルコギキョウなど、養液土耕システム、環境制御装置による省力・低コスト技術により、年間約52万本を生産し、東京や仙台市場をはじめ、近隣の直売所で販売しています。休日制の導入や休憩所等の設置などにより子育て中の女性が働きやすくし、笑顔あふれる生産現場を実現しているほか、代表取締役の平山喬博さんは宮城県指導農業士として農業人材の育成や地域農業の振興に貢献されています。

今回の受賞にあたり平山さんは、「家族や従業員、消費者など多くの人に支えられたおかげであり、今後も心豊かな生活づくり、みんなが明るく元気になれる花づくり、産地拡大等に努めて行きたい。」と今後の意気込みをお話いただきました。



農作業安全「徹底しよう！農業機械の転落・転倒防止」

美里農業改良普及センター管内の動き

令和7年産水稻作の気象・作柄について～少雨の中ほぼ平年並み～

今年の水稲作は良苗が育ち、田植え後の活着も良く順調な滑り出しでした。しかし、6月以降は少雨が続き、特に7月の降水量が平年比4%（鹿島台アメダス）となったことから、7月下旬以降は用水が不足しました。渇水に加え出穂前後の高温など厳しい気象条件ではありましたが、生産者の皆様の飽水管理の徹底や、番水など関係機関一丸となった努力の結果、12月12日現在の作況統計調査結果では、宮城県北部の作況反収指数は99、10a当たり収量（ふるい目1.9mm）は533kgとなりました。また、JA新みやぎみどりの地区の一等米比率は、12月10日現在で96.1%（倉庫うるちのみ）と品質も良好でした。皆様のご尽力、ご協力に感謝申し上げます。



黄金色に実った水田の刈り取り

土地利用型法人の持続的な経営を目指して



専門家（経営士）による経営指導会

農事組合法人おおぬき彩土里ファームは、令和3年に大崎市田尻地域で設立された土地利用型法人で、持続的な法人運営を目指して経営管理能力の向上や新たな品目等の栽培技術向上に向け支援を行ってきました。

経営管理の実践においては、昨年に作成した経営計画を実際の農産物価格に合わせて見直しを行い、一部の農業機械を前倒しで購入するなど、適期の設備投資が実現しました。見直しの過程では専門家（経営士）の指導を受け、持続的経営や将来の従業員の雇用のために必要な資金の内部留保や、代表者に権限が集中する「鍋蓋型」の組織から各部門に責任者を置く組織への転換への検討も開始されました。一連の経営計画の改善作業を通じて法人の役員における経営管理の向上に繋がっています。

あわせて、新規部門のさつまいもや種子用小麦、主食用米の乾田直播の技術向上支援も行いました。新しい部門が増えることで、農産物価格の変動の影響を受けにくい強い経営体質が実現することが期待されます。

「北浦梨」の持続可能な栽培に向けた取組を支援しました

美里町の特産品「北浦梨」の産地活性化のため、気候変動への対応や栽培技術の継承に向けた、栽培の「見える化」に取り組みました。

春先の凍霜害対策として、栽培園地と鹿島台アメダスの気温データを比較し、園地内の夜温が鹿島台よりも低くなる傾向から、産地内の気温の測定による、凍霜害対策の必要性が理解されました。また、シンクイムシの2年間の発生状況調査より、高温による発生の長期化が明らかとなり、情報共有ツールで発生状況を発信することで、生産者へ適期防除を呼びかけました。その他、経営収支等の聞き取りや他産地との交流会等により部会活動の活性化にもつながりました。

産地内でも、生産者自ら気温や病害虫発生状況を把握するなど、持続可能な栽培を目指す取組が進められています。



トラップによる害虫発生状況調査

「夏黄金」産地の支援～早春の堆肥散布が小麦を強くします！～



刈り取り時期を真剣にチェック!!

パン用小麦「夏黄金」の産地である涌谷町において、収量・品質向上に町内産堆肥を活用するため、越冬後の2～3月に麦の上から堆肥を散布する試験を3年間行ってきました。3年続けて堆肥散布を行ったほ場では、主に穂数が増加し2～3年目の平均で約17%の収量アップとなりました。また、堆肥散布の継続により、排水性の向上、堆肥成分の蓄積など、土壌改良効果があることが確認されました。令和7年産では、町内の小麦作付面積の半数近くで堆肥が活用されています。

課題の最終年の総まとめとして、3年間の結果をまとめた事例集（4頁参照）を発行しました。今後も、「夏黄金」の産地として高品質な小麦生産が期待されます。

農薬危害防止「守ろう農薬ラベル、確かめよう周囲の状況」

美里4Hクラブの活動に参加してみませんか？

令和7年12月12日(金)に、みやぎ農業未来塾「経営研修」を美里4Hクラブと普及センターの共催により開催しました。

研修にはクラブ員を含め10名の若手農業者が参加し、「農業と『ビジョン型経営』の可能性」をテーマに、ホライズンコンサルティンググループ(株)代表取締役庄司和弘氏による講演に加え、他県の若手農業者とのオンライン交流やワークショップを行いました。参加者同士でそれぞれの将来ビジョンを共有しながら活発な意見交換が行われ、農業者同士の交流の場としても有意義な研修となりました。

美里4Hクラブでは、本研修のような行事等を通して交流し、共に技術向上や問題解決に取り組む仲間を募集しています。



頑張る女性農業者を応援しています！



普及センターでは大崎、栗原普及センターと連携して女性農業者の支援を行っています。今年は「みんなでマルシェ参加講座」と題して、イベント販売に向け、女性農業者のネットワークづくりやイベント販売での商品の魅せ方、出店時の食品衛生等について、8月と9月の2回、共同で研修会を開催しました。この研修会で学んだことを基に、令和7年10月18日(土)に開催された「おおさき産業フェア」に「農Lady農Life」のグループ名で出店し、米や野菜などの農産物や手芸品を販売するとともに、女性農業者の活動をPRしました。地域を越えた女性農業者の繋がりができたことで、今後の交流や新たな活動の展開が期待されます。

事例集のご紹介～令和7年度の活動成果～

● たまねぎ直播栽培 ●

管内で取組みが拡大しているたまねぎ直播栽培について、経営体の取組をまとめた事例集を作成しました。ぜひご活用ください！！



● 小麦の堆肥活用 ●

小麦ほ場における早春堆肥散布の事例と、管内の堆肥生産・販売業者の皆様を紹介しています。堆肥の有効活用による地力改善に取り組みましょう。



お知らせ 「みどり認定」を受けてみませんか

「みどり認定」はみどりの食料システム法に基づき、環境負荷の低減に資する5年間の活動計画を作成し、知事の認定を受ける制度です。既に慣行栽培と比較し、農薬や化学肥料を20%以上減らして栽培している方や、無化学肥料での栽培、有機栽培に取り組んでいる方などは、今取り組んでいる内容で認定を受けられる可能性があります。また、環境保全型農業直接支払交付金等は制度の見直しにより、令和9年度を目標に、「みどり認定」を受けた農業者の取組に対する支援に移行することが検討されています。令和9年度以降も交付申請を検討されている方は、令和8年度中に「みどり認定」されるよう、できるだけ早めにご相談ください。

発行：宮城県美里農業改良普及センター

住所 宮城県遠田郡美里町北浦字笹館5
メール msnokai@pref.miyagi.lg.jp
電話 0229-32-3115 FAX 0229-32-2225
HP <https://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/>



美里普及センターHP